



開館時間
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日
月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始・臨時休館日(展示替え期間など)

入館料
企画写真展示ごとに異なります。

※中学生以下は無料
※土・日・祝日、夏休み期間は高校生無料
※20名以上の団体は2割引
※65歳以上は2割引(身分証をご提示ください)
※祖父母と孫が一緒なら入館無料
(祖父母は富山県内在住の方)

交通のご案内
[徒歩]あいの風とやま鉄道「福岡駅」下車徒歩6分
[自動車]能越自動車道 福岡I.C.から車で10分
三井アウトレットパーク北陸小矢部から車で15分
[駐車場]カメラ館30台(無料)、Uホール兼用駐車場(無料)



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団
ミュゼふくおかカメラ館
〒939-0117 富山県高岡市福岡町福岡新559番地
TEL (0766)64-0550 FAX (0766)64-0551
https://www.camerakan.com
info@camerakan.com



沿革・概要

カメラと写真の魅力を伝えるミュージアムとして平成12年9月にオープン。所蔵するクラシックカメラによる常設展、第一線で活躍する写真家たちによる企画写真展、地域の写真活動を紹介する展示など年間を通して開催し、全国的にもユニークな活動を進めています。地域に根ざした文化の創造と発展に寄与し、収集保存・展示公開・教育普及・調査研究による機能とカメラと写真・映像文化の素晴らしさを発信する拠点を目指しています。

建築・設備

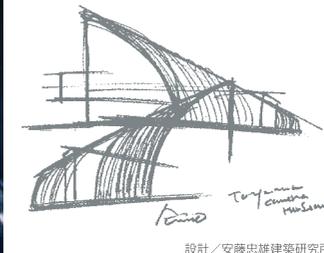
日本を代表する建築家・安藤忠雄氏が手掛けた富山県内唯一の建物。コンクリートやガラス、鉄などの無機質な素材と幾何学的な構成で空間を作り、光と影、自然との共生をより印象的に感じさせます。くさび形の壁に沿う階段やスロープにより動線が形成され、内部空間に変化と奥行きが生まれます。建物の各部位や展示ケース、イスにいたるまで特殊処理(熔融亜鉛メッキリン酸処理)を施したスチールを用いて、「むき出し」と「無機質感」を演出します。

収藏品・展示事業

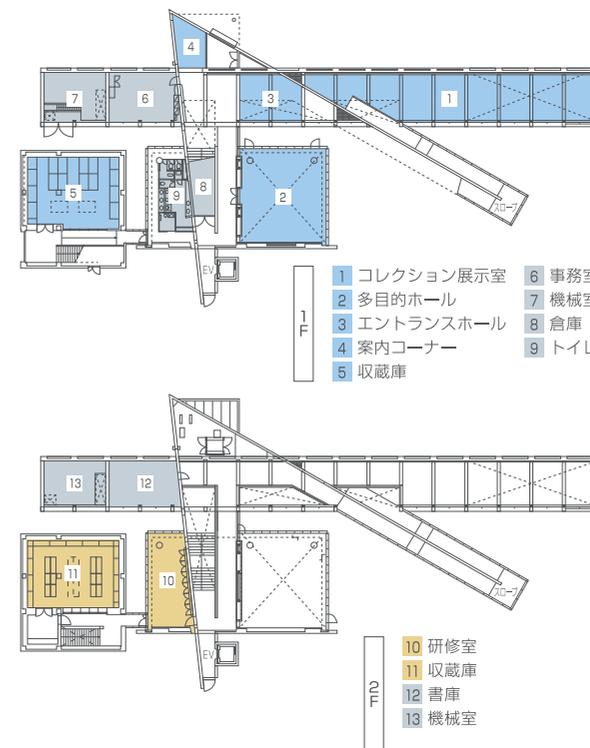
クラシックカメラを中心に約4,000点もの資料を収蔵し、年間を通して常設展示しています。歴史や人物、メーカーや機能などを通して100～200点の資料をわかりやすく紹介。また、第一線で活躍する写真家たちが捉える自然の美しさや人々の営みなど、メッセージ性溢れる企画写真展を季節に合わせて開催し、全国からたくさんの皆様に感動をお届けしています。



- 開館 2000年9月
- 設計監理 本館/安藤忠雄建築研究所
- 敷地面積 2,786.59㎡
- 建築面積 951.93㎡
- 延床面積 1,325.27㎡ (1階783.62㎡ 2階541.65㎡)
- 構造 鉄筋コンクリート造 2階建



設計/安藤忠雄建築研究所



Information & Schedule
2026.4 – 2027.3





©今森光彦



©大竹英洋



©浅田政志



©高橋敬市

今森光彦 写真展「里山-satoyama-」 —琵琶湖水系に息づく自然—

【春】4月4日(土)–6月21日(日)

一般1,000円、大学生・高校生400円、中学生以下無料

NHKスペシャルなどでも知られる今森光彦氏は琵琶湖をのぞむアトリエを拠点に、人と自然が上手に共生していく「里山」をライフワークとして追いかけて、50年近く撮影を続けています。本展は四季折々の里山の自然、生命の循環の中に生きる虫や植物の姿を優しきまなざしで捉え、琵琶湖の水の流れにより循環する棚田や野辺風景と、そこに息づく星の数ほどの生命たちがつくりあげる調和の宇宙を、写真約100点で紹介いたします。

大竹英洋 写真展「To the North. 北へ。」 —ノースウッズ、そしてアラスカ—

【夏】6月27日(土)–8月30日(日)

一般800円、大学生・高校生400円、中学生以下無料 ※夏休み期間は高校生無料

自然に興味を持ち、オオカミを追って20代で目指した北米の湖水地方「ノースウッズ」。ひとつひとつの出会いをじっくり掘りとりながら写真家の歩みを進めてきた大竹英洋氏は、これまで日本でほとんど紹介されなかったこの地に住む野生動物や先住民の暮らしを25年余にわたり撮り続けてきました。本展は、土門拳賞を受賞した「ノースウッズ 生命を与える大地」から新作を加え、ドキュメンタリー番組で写真家・星野道夫の足跡をたどったアラスカの写真をあわせて約100点を紹介いたします。

浅田政志 写真展 「今ふたたび! 記念日をつくる記念写真」

【秋】9月5日(土)–11月8日(日)

一般800円、大学生・高校生400円、中学生以下無料

「写真を撮ることで、その日を特別な写真記念日として演出できる」ことを提唱し、プロセスを大切に撮影する浅田政志氏。その姿は映画「浅田家!」の主人公のモデルにもなりました。その後も東北や能登の震災、自身の結婚や子供の誕生など、さまざまな経験を経てなお一貫として身近な家族を撮り続け、記念写真をテーマに撮影を続けています。本展は、15年前に当館で展示した一連の代表作「浅田家」をふたたび展示するだけでなく、その後展開する浅田氏の家族写真、記念写真の「すべて」をご覧いただく展覧会です。お年寄りからお子様まで楽しみながらご覧いただけます。

高橋敬市 写真展「立山・剣・薬師岳」 —ふるさとと山 めぐる命の物語—

【冬】11月14日(土)–2027年1月11日(月・祝)

一般800円、大学生・高校生400円、中学生以下無料

立山・剣・薬師岳は古くから信仰の山であり、火山として自然の循環を繰り返し、氷河が残る山でもあります。立山連峰の水の豊かさは森や草原で生きるさまざまな動植物たちの命を紡ぎ、人々の暮らしを豊かにしてきました。本展では、憧れや畏敬の念をもってみつめられてきた「ふるさとと山」と、そこに棲む生きとし生けるものの「命をめぐる物語」を、立山山麓に移り住み立山連峰を撮り続けた写真家による写真約100点で紹介いたします。

令和8年度 Schedule 2026-2027

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027年1月	2月	3月
【春】今森光彦写真展「里山-satoyama-」 4/4-6/21(68日間)			【夏】大竹英洋写真展「To the North. 北へ。」 6/27-8/30(56日間)			【秋】浅田政志写真展 「今ふたたび! 記念日をつくる記念写真」 9/5-11/8(56日間)		【冬】高橋敬市写真展「立山・剣・薬師岳」 11/14-2027/1/11(45日間)		長田達明写真展「モノクロの世界と光の彩」 2027/1/16-2/14(26日間)	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>■ 企画写真展 ■ カメラ常設展</p> <p>※夏休み期間(7/18-8/30)は高校生無料です ※展覧会と次回展の間は展示替え期間(休館)となります ※年間パスポートご持参で全ての展覧会をご覧いただけます</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ワンダーフォトコンテスト2026-2027 作品募集 募集期間: 6/2-2027/1/12</p> </div> </div>											
「昭和100年目のカメラ展」 -6/21			I「ライカをめざしたカメラたち展」 6/27-11/8			II「ファインダーL♡VE」 11/14-2027/夏頃			ワンダーフォト写真展2026-2027 2027/2/20-3/28(32日間)		

カメラ常設展 ※入館料は企画写真展に含みます

当館が収蔵する4,000点を超えるクラシックカメラ資料の中から、年間を通して歴史や機能などをテーマに100~200点のカメラを楽しくわかりやすくご紹介しています。また、安藤忠雄氏設計による常設のガラス展示ケースでは様々な角度からカメラの魅力をお楽しみいただけます。



「昭和100年目のカメラ展」-6月21日(日)

I「ライカをめざしたカメラたち展」
6月27日(土)–11月8日(日)

II「ファインダーL♡VE」 11月14日(土)–2027年夏頃(予定)

教育普及事業

ワンダーフォトコンテスト2026-2027 作品募集! <参加無料>

【募集期間】6月2日(火)

–2027年1月12日(火)

世代や地域を超えて“写真の楽しさ”を伝え、みんなで共有することを目的に、平成24年度より当館が継続開催している全国公募のフォトコンテストです。大賞ほか審査で選ばれた入賞作品はもちろん、全応募作品をカメラ館で一堂に展示。奮って応募ください。



一般の部 大賞



ジュニアの部 大賞

長田達明 写真展「モノクロの世界と光の彩」

2027年1月16日(土)–2月14日(日)

一般500円、大学生・高校生300円、中学生以下無料

長年撮り続けてきた魚津の洞杉、埋没林、老母の姿をはじめ、祈りの聖地をテーマにしたスナップや花・風景・ポートレートなどを展示します。モノクロ作品は、静かな時間の流れと生命の質感や深いぬくもりを伝え、色彩豊かな作品は旅の出会いや日常の輝きを伝えます。静と動、力強さとやさしさが寄り添う展覧会です。



©長田達明

ワンダーフォト写真展2026-2027 富山県写真家協会作品

ワンダーフォトコンテスト2026-2027全応募作品 など

2027年2月20日(土)–3月28日(日)

一般300円、大学生・高校生200円、中学生以下無料

当館がジュニアから一般まで毎年公募する「ワンダーフォトコンテスト」の全応募作品を一堂に展示します。身近な風景や笑顔はじける特別な瞬間など全国から集まったバラエティ豊かな作品とともに、地域で活躍する写真家たちの作品展も見どころです。誰でも「写真の楽しさ」を知る絶好の機会です。

令和8年度「年間パスポート」発売開始!

気軽にいつでも何度でもカメラ館に足を運んでいただける「年間パスポート」を発行します。令和8年度の企画写真展やカメラ常設展を無料でご覧いただけるほか、ご夫婦や親子、お友だちの皆様とご一緒に、ペアでご来館いただけるお得な特典つき!

価格/1枚(お1人様)3,500円
販売期間/令和8年3月20日(金・祝)~11月15日(日)
カメラ館受付窓口のみの販売となります。

有効期間/ご購入日~令和9年3月28日 令和8年度事業が対象
特典/ご本人様及び同伴お1人様まで無料でご来館いただけます。